

# 白岡のまつり

埼玉県白岡市  
白岡市観光協会



だるま市

## だるま市(祈年祭)

白岡八幡宮の境内で毎年2月15日にだるま市(祈年祭)が開かれます。市にはだるま屋などの露店が出て賑わいます。だるま市には、岩槻のだるまが売られ、市内はもとより近在近郷の善男善女が大勢訪れ、家内安全や商売繁盛を願い毎年少しずつ大きなだるまを買い求めます。



## 春・秋の大祭

白岡八幡宮の春の例大祭は「花嫁まつり」とも呼ばれ3月第2日曜日に、秋の大祭は10月第3日曜日に開催されます。春と秋の大祭には、新築された神楽殿でお囃子の奉納や芸能が行われて賑わいます。



### 白岡八幡宮

「八幡様」の名で地域の人々に親しまれている白岡八幡宮は、縁起によれば嘉祥2年(849)に慈覚大師円仁の創建といわれています。また、建久6年(1195)に源頼朝が当地の鬼塚集に命じて社殿を造らせたという記録があります。

## 初山

7月1日を初山・浅間様といひ、篠津の浅間神社(久伊豆神社の境内社)には、この一年間に生まれた子どもが親などに連れられて参拝に訪れます。参拝者は築山に祀られている浅間神社の社殿でお祓いを受け、額に印を押してもらいます。初山にお参りすると、子どもが健康に育つといわれています。参拝記念には、「うちわ」を購入し、子どもの名前を記入して親戚に配る習慣があります。



## あんば様

高岩天満神社の境内社である大杉神社を「あんば様」と呼んでいます。あんば様の祭りは、3月と7月の年2回行われ、厄払いのためお獅子様と御輿のムラ回りが行われます。お獅子様の一行は、御輿の練り歩く前に、獅子頭、天狗、烏天狗で、氏子の家々を悪魔祓いにムラ内を回ります。御輿が地区内を回って天満神社へ戻るときには若い衆の担ぎ手によって勇壮に御輿がもまれます。なお、この御輿は80貫(約300kg)以上もあるという立派なものです。

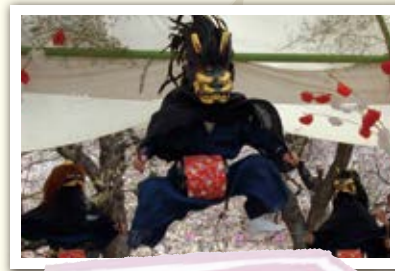
### あんば様

これは大杉神社の本社が鎮座する茨城県阿波郡桜川村(現稲敷市)の阿波(あわ)がなまって呼ばれるものです。



## 小久喜ささら獅子舞

白岡市無形民俗文化財に指定されているささら獅子舞は、小久喜久伊豆神社の春季祭礼に奉納されます。獅子舞は隔年の4月上旬日曜日に土儀のように円形に土を盛った特設のシバと呼ばれる上で行われます。この獅子舞の起源は『獅子連中例記』に、文政11年(1828)に現在のさいたま市深作から伝授を受けたと記されています。獅子舞の構成は、獅子、ささらすり、笛吹き、天狗、歌方から構成されます。獅子は大獅子、中獅子、女獅子の3頭で1組になります。獅子舞は「雨乞い」に御利益があるといわれ、日照りが続いたときや干ばつで困ったときなどに行われ、雨乞い獅子を奉納して干ばつを防いだことも記録されています。獅子舞は祭礼の午後から獅子連中により奉納されます。また、南小学校郷土文化研究会の子ども達の舞も行われます。



### ささらとは

「ささら」は竹製の楽器のことで、櫛の歯のように竹を削ったものをすりあわせて音を出す道具のことで、この役を「ささらすり」といい、獅子舞をささらとも呼ぶようになりました。

## お獅子様(おしっさま)

おしっさまの祭は、加須市玉敷神社のご神体である「お獅子様」を借り受けてきて、悪魔退散や無病息災を祈願して地内を回る行事です。「おしっさま」は、お獅子さまのほか、触れ太鼓、先達、天狗、賽銭箱持ちなどで構成されています。今では、地内を回らずに神社の拝殿に安置して、人々がお参りに出向く地区もあります。行事の日取りは、千駄野(3月1日)、荒井新田(同29日)、篠津(4月16日)、野牛(同21日)、小久喜(同24日)にそれぞれ行われます。



# それぞれの てんのう 天王様

7月になると市内各地で疫病退散を願う夏祭りが行われます。なかでも、八雲神社(岡泉、柴山)、八坂神社(上野田・下野田)、須賀神社(篠津)、牛頭神社(白岡の新田地区)を祀る地域では「天王様」と呼ばれる行事が行われます。篠津や岡泉の天王様には見事な彫刻の施された山車が出ます。上野田・下野田では勇壮な御輿が練り歩き、疫病の退散を願います。白岡の新田地区や柴山ではお獅子様(おしっさま)が地区の中を駆け巡ります。

## おかいずみ 岡泉の天王様

岡泉鷲神社の境内社である八雲神社の祭礼として行われます。山車は明治年間に造られたもので、大尺囃子が演奏されます。また、鷲神社祭礼には神楽殿でお囃子や巫女舞が奉納されます。



## のぼ 野田の天王様

八坂神社の祭礼として、上野田と下野田の氏子によって行われ、大御輿の渡御が行われます。この大御輿が大勢の担ぎ手によって、威勢のいい大きな掛け声とともに担ぎ上げられ地区内を回る様子は圧巻です。



## しのぶ 篠津の天王様(山車)

山車は篠津に5台現存していますが、かつては篠津の馬立地区にも山車がありました。篠津の山車は上宿、横宿、宿、下宿、神山の各地区にあり、いずれも見事な彫刻が施された華麗なものです。篠津の山車には元治元年(1864)の年号が見られます。山車を曳くときは、高張提灯・金棒ひき・山車の順で行列を組んで進んでいきます。祭礼は今では15日に近い日曜日に行われ、法被や浴衣に鉢巻姿の子どもたちも多く参加しています。山車は午前11時過ぎ頃から、久伊豆神社の境内に集まり、囃子を競い合います。夜は山車に提灯が飾り付けられ、賑やかなお囃子と共に光の中に山車が浮かび上がります。



## しんめん 新田の天王様

白岡地内の西白岡郵便局近くの牛頭天王社の祭礼として行われます。新田地区はもとより東、山、茶屋、小久喜地区などを厄払いに回ります。お獅子様の一行は午前11時頃から回り始め、牛頭天王社に戻ってくるのは夕方5時頃になります。



## しばやま 柴山の天王様

柴山諏訪八幡神社の境内社である八雲神社の祭礼で疫病払いの行事として行われ、天王様では柴山地内を一軒一軒回っていきます。この獅子の一行は、天狗、烏天狗、獅子で構成され、子どもたちのお囃子連が飾りの付いた車に乗ってお囃子を演奏しながらムラ回りを行います。



市内各地の社寺や地域でさまざまな祭が行われています。ここでは、伝統的な祭礼について紹介します。

# 祭り 歳時記

日時	名称	場所	日時	名称	場所
1月1日から	初詣	各神社	6月下旬	夏越の大祓い(茅の輪くぐり)	白岡八幡宮
節分頃	新春を祝う豆まきまつり	興善寺	7月1日	浅間様の初山	篠津久伊豆神社境内社浅間神社
節分	節分祭	高岩天満神社	7月	岡泉の天王様	岡泉鷲神社境内社八雲神社
2月15日	だるま市(祈年祭)	白岡八幡宮	7月	野田の天王様	八坂神社
3月下旬	大杉神社春祭り(あなば様)	高岩天満神社境内社大杉神社	7月	篠津の天王様	篠津須賀神社
3月第2日曜	春期例大祭	白岡八幡宮	7月第3土曜	新田の天王様	白岡新田牛頭天王社
4月上旬日曜(隔年)	ささら獅子舞	小久喜久伊豆神社	7月第2日曜	柴山の天王様	柴山諏訪八幡神社境内社八雲神社
3月1日	千駄野のおしっさま	千駄野地区	7月	岡泉の神楽と大尺囃子	岡泉鷲神社
3月29日	荒井新田のおしっさま	荒井新田地区	7月下旬	あなば様	高岩天満神社境内社大杉神社
4月16日	篠津地区のおしっさま	篠津地区	10月第3日曜	秋季大祭	白岡八幡宮
4月21日	野牛のおしっさま	野牛地区	12月31日	除夜の鐘	各寺
4月24日	小久喜のおしっさま	小久喜地区			

市内の寺院や神社では、この他にも、各地でさまざまな伝統行事が行われています。主なものとしては、寺院では5月8日の花祭り、8月のお盆の頃を中心に行われる施餓鬼法要などがあります。神社では、元旦祭、春の祭礼、夏の祭礼、秋の祭礼が行われています。また、講の行事としては、庚申講や愛宕講、様名講なども行われています。